



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2017年12月10日発行

No.5

通巻53号

2017年もあとわずかとなり、皆様方には何かとお忙しくお過ごしのことと思います。今年度最後のニュースレターは、秋の活動の報告を中心にお届けいたします。お陰様で、バオバブの会は今年度も多彩な活動を展開することができました。新年度も、より一層のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。日毎に寒さがつのってまいりました。どうか体調に気をつけられ、お元気で新年をお迎えください。

活動報告

** よこはま国際フェスタ2017 **

<http://yokohama-c-festa.org/>

日時：2017年10月7日（土）～9日（月・祝日）10:30～16:00

（バオバブの会は8日、9日に出展）

会場：グランモール公園

（横浜市西区みなとみらい3丁目／東急東横線・みなとみらい駅より徒歩3分）

主催：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

よこはま国際フェスタ 2017 プロジェクト

国際協力・国際交流に携わる団体が参加する恒例の「よこはま国際フェスタ」。

バオバブの会は今回も「世界のフード」ゾーンに出店し、セネガルの料理とおやつを販売しました。メニューはヤーサ（酸味のあるチキンシチュー）、マーフェ（ピーナッツソースのビーフシチュー）、ベニエ（西アフリカの丸いドーナツ）、アターヤ（セネガルスタイルのミントティー）。2日間ともお昼時には行列ができるほどの大盛況で、どれも完売しました。

また、セネガル音楽やギニア音楽のライブにて、ディウフ会長が挨拶＆「チャリティーライブ2017」のPRもさせていただきました。

**** バオバブの会主催イベント ****

「バオバブの会チャリティーライブ2017」～セネガルの子どもたちに教育を～

日時：11月23日（木・祝） 開場：15：00 開演：15：30

会場：アフリカンレストラン カラバッシュ

2015年に続き2回目のチャリティーライブを行いました。

日頃からご支援いただいているジェンナさん率いるゴスペルスクエアの有志20名の皆さんと、セネガルの伝統舞踏家でジェンベ、サバルの奏者としても日本で幅広く活躍されているアブドゥ・バイファルさんと友人のミュージシャン（セネガル、ギニア、日本）の方々、アフリカダンスの生徒さん総勢10名という豪華な出演者をお迎えして開催しました。

来場者は前回は上回る80名を超え、会場いっぱい席を増設し、にぎやかで熱気あふれるライブとなりました。

セネガル大使館からも大使代行の方にご挨拶をいただいて、ゴスペルスクエアの爽やかな歌声でライブがスタート。軽快な曲の後ほっとりとしたメロディーで多彩なハーモニーが会場に広がります。最後は会場全体を巻き込むミニワークショップで楽しく大合唱となりました。

そして、いよいよアブドゥ・バイファルさん率いるこの日限りの豪華なアフリカンバンドの演奏が始まります。力強いアフリカドラムと繊細な弦楽器、木琴のような打楽器等、体が自然に動きだすリズムのうねりに包まれます。ダンスもアブドゥさんの目にもとまらぬ切れのある動きと華やかなアフリカプリントの衣装に身を包んだ女性陣のしなやかな動きに魅了されました。客席とのかけあいも楽しくあっという間の50分でした。

今回のチャリティーライブで皆様から頂いた励ましと収益は、来年度からの支援の大きな力となります。運営委員一同、心より感謝申し上げます。

↓ ジェンナさん率いる、ゴスペルスクエアの演奏



↓ 華やかな女性陣のダンス



↓ この日限りの豪華なメンバーによるアフリカンバンド



★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★
第25回 チャリティーライブ大成功に感謝

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)

この拙いエッセーを毎回ご親切にも辛抱強く読んでくださっている皆様は、今回、以前に扱ったテーマやことわざがまたもや登場していることに気がつくられることでしょうか。同じことわざに何回も言及することで皆様を退屈させてしまうのは大変に申し訳ないのですが、仕方のないことなのです。チャリティーライブ2017の後、私の心と頭には、この欄のテーマとして「連帯」と「感謝」しか浮かばず、他のものを考えることができなかつたからです。

去る11月23日、浜松町のアフリカ料理レストラン《カラバッシュ》で、バオバブの会としては第2回目となった、チャリティーライブ2017が開催されました。そして、少なくとも私は大成功だったと思います。会場は満員で、観客の皆様は演奏に大喝采で応え、ライブが終わった時には、あちこちから「素晴らしかった…」「良かったね!」という声が聞こえていたからです。

いずれにしろ、このイベントが無事に終了したことで安堵し幸福な思いになった私は、この成功は何のおかげだったろうかと自問しました。そして、今回のイベントの計画の初めから終わりまでを思い起こすと、すべての段階に二つのことがあったと気づきました。一つは連帯の精神であり、もう一つは、私たち開催した側と、演奏者、そして観客の皆様との間の信頼感でした。

このイベントの準備を進めながら私たちは信じていました。バオバブの会がスタートした20年前から今日に至るまで変わらぬ共感と支援を表明してくださっている皆様の中から、少なからぬ方々が、何かとお忙しいにもかかわらず、今回もまた、私たちのお誘いに応じて来てくださるだろうと。この確信がなければ、私たちはこのイベントを企画することはできなかつたでしょう。＜チンパンジーが戦いを始めるのは、ゴリラの助けを当てにしているから＞という、ガボンのファングの人々のことわざのように。

しかし、観るものがなければ観客は来てくれません。そして、こういったイベントの開催にお金がかかることは誰でも知っています。今回の出演者は、ボランティアで演奏することを引き受けてくれただけでなく、自らのお金を足したり、入場料を払って参加してくださいました。セネガルには＜兄弟は、落花生の収穫の時にいなくても、葬式には必ず顔を出す＞注1ということわざがありますが、これがまさに、ナナ・ジェントルさんとアブドゥ・バイファルさん、またそれぞれの仲間の皆さん、そして音響担当の渡辺さんの姿勢でした。

しかしまた、＜1本の指だけで顔を洗うことはできない＞とガボンのファングの人々が言います。いつものことですが、運営委員会のメンバーに強い連帯の精神があったことは明らかです。日時を決め、出演者や音響担当者を探し、チラシやチケットを作り、それらを方々に配布し、予約やチケット販売を進め、ライブ当日の進行を決める等々、たくさんの仕事がありました。けれども、バオバブの会の運営委員は現在4人なのです。私たち4人だけでは、当日、椅子などの荷物を運び、会場を整え、リハーサルを進め、観客を迎え、席に誘導し、そしてライブ本番をスムーズに進行するの

は、難しいどころかまず不可能でした。ところが、スタッフを引き受けてくださった方々が、荷物運び、会場準備、受付、アフリカグッズ販売などを手伝ってくださったので、大変な仕事はずいぶん楽になり、ライブをとどこおりなく進行することができたのでした。<ひとりでできる仕事は、二人ならもっとうまくやれる>注2とセネガルのウォロフの人々は言います。

さらに、忘れてはいけないことがあります。私たちは、もし観客の皆様が、入場料を払ったら後は指1本上げずにサービスされるのを待つだけと、普通のお客様のようにされていたのなら、ライブがここまで成功することはなかったと信じています。皆様ご自身が自発的、積極的に、会場が狭いのにもかかわらず皆が気持ちよく演奏を楽しめるように、席を譲り合い、整えてくださったことに気づいていました。

言い換えれば、私たち運営委員だけでなく、お手伝いのスタッフ、演奏者、音響担当者、そして観客の皆様それぞれが、ライブをご自分のものとして運営してくださったのです。これを思ったとき、私の胸は熱い感動でいっぱいになりました。今回のライブの成功は、こういったすべてのことがもたらしたものだのです。次の二つのことわざのように。<上下の顎が出会えば、骨だって砕ける>注3（ウガンダのルンヨロの人々のことわざ）。<1本の木では煙が出るだけで、火は起こせない>（エチオピアのガラの人々のことわざ）。

さて、このエッセーを、もっとも難しいこと、つまり、皆様に私の感謝のすべてをお伝えすることで終えようと思うのですが、やはり、それは難しすぎて私にはできません。セネガルのウォロフの人々のことわざ、<お前に何かをくれる人は、お前を試し、挑んでいる>注4のせいではありません。なぜなら、皆様方は、私自身や運営委員や私の国の子どもたちのためにしてくださったことについて何の見返りも期待していらっしやらないことを知っているからです。いや、もっと簡単に言えば、私が感じている感謝の思いを表す言葉が見つからないからです。

ですから、<カメルーンの犬は、主人にあげるものを見つけることができないので、ただ尻尾を振る>（カメルーンのバムーンの人々のことわざ）のように、私は、ただ一言、申し上げます。

本当にありがとうございました。

注1：落花生を収穫する時は、年に1度の大きな現金収入を得る時です。人々のご馳走を用意して収穫を祝います。このような喜びの時にだけ現れて振る舞いにあずかる人もいますが、真の友は、むしろ、そのような時にはいなくても、悲しみの時、困難な時には必ずやってきて、そばにいてくれるものです。

注2：私たち運営委員だけでも、なんとかなったかもしれません。でも、他のみんなの支えがあったので、完璧な結果が出せたのだと思います。

注3：力を合わせれば、すべてを成し遂げられる、という意味です。

注4：「ただほど高いものはない」と言いますよね。何かをいただいたり、してもらった時、相手によっては、喜んでいただけではすまないことがあります。

イベント情報

**** よこはま国際フォーラム2018 ****

<http://yokohama-c-forum.org/wpforum/>

日時：2018年2月3日（土）・4日（日） 11:00～18:00

会場：JICA横浜

参加費：次号のニューズレターでお知らせします。

主催：よこはま国際フォーラム2016プロジェクト

（主催者構成団体：（特活）横浜NGO連絡会／JICA横浜／公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)／日本赤十字社神奈川県支部／（特活）教育支援協会）

※バオバブの会のセミナーは4日（日）13:10～15:00（休憩14:00～14:10）

4階セミナールーム「やまゆり」にて

国際協力・多文化共生に関わる団体がセミナーやワークショップを開く、毎年恒例のフォーラムです。

バオバブの会は4日（日）にディウフ会長が講座を行ないます。

今回のメインテーマは、イスラムと現代社会の両立。シャリーア（イスラム法・イスラムの規律）をはじめとするイスラム思想と、自由や権利を求める現代社会の価値観が、どう両立するのか。また、両立させるためにどんな教育が必要か。セネガルのイスラム系学校も例にとりながらお話しします。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993 - 35

TEL&FAX 045 - 373 - 0059

HP：<http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座no. 1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215